

情報・システム研究機構経営協議会（令和2年度第3回）議事要旨

日 時：令和2年10月19日（月）10：00～12：20

形 式：Web会議

出席者：安宅和人委員、五十嵐道子委員、國井秀子委員、篠崎一雄委員、須江雅彦委員、長谷川真理子委員、古谷研委員、安浦寛人委員、藤井良一委員（議長）、津田敏隆委員、喜連川優委員、椿広計委員、坂口広志委員、中村卓司委員、花岡文雄委員

オブザーバー：吉武博通監事、門田隆太郎監事

陪席者：本部事務局・研究所事務担当者

○議事に先立ち、9月1日に着任した新監事の紹介があった。

議 事：

【審議事項】

（1）情報・システム研究機構組織運営規則の一部改正について

坂口委員より、資料1-1、1-2に基づき説明があり、審議の結果、教育研究評議会、役員会にて審議することが了承された。

（2）就業規則等の一部改正について

坂口委員より資料2-1、2-2に基づき説明があり、審議の結果、過半数代表者へ意見照会することが了承された。

<意見概要（在宅勤務に関して）>

●「職員が申し出て適当と認められる場合」とは、積極的に在宅勤務を増やす方向性ではないのか。ROISには先行して色々取り組んでほしいと思う。

→ワーク・ライフ・バランスや働き方改革における在宅勤務の位置付けも議論したところだが、これが現時点での議論のまとめである。社会から付託されている事項を在宅勤務でも確実にやれるということを担保しつつ、今後さらに議論したい。

●費用負担については、他大学の例を参照したり監事とも相談したりした方が良い。また、情報セキュリティに関しては、セキュリティ・ポリシーを書き換えないといけない場合もある。費用の面も含めて総合的に検討すると良い。

→費用については監事からもご意見等いただきながら、進めていく。

→セキュリティ・ポリシーの書き換えは検討する必要があると認識している。特にVPN接続等については今後検討していかなければならない。

（3）役員退職手当に関する業績勘案率について

議長より資料3-1、3-2に基づき説明があり、審議の結果、役員会にて審議するこ

とが了承された。

(4) 第3期中期目標期間における施設・整備及び教育・研究プロジェクト計画について
坂口委員より資料4-1、4-2に基づき説明があり、審議の結果、教育研究評議会にて報告、役員会にて審議することが了承された。

(5) 令和2年度(2020年度)補正予算(一般経費)について
坂口委員より資料5-1、5-2に基づき説明があり、審議の結果、教育研究評議会にて報告、役員会にて審議することが了承された。

(6) 令和元年度外部評価結果に対する取組について
津田委員より資料6-1～6-3に基づき説明があり、教育研究評議会、役員会にて審議することが了承された。

<意見概要>

●「有事対応」という項目が、地震のことを中心に書かれているが、新型コロナウイルスのことも踏まえて、今後この「有事」を拡大解釈したうえで、研究活動、教育活動、人材育成活動を持続するための基盤を構築する、という側面を入れてはどうか。

→外部評価を受けた時点では新型コロナウイルスの問題が顕在していなかったが、今後第4期ではそういうことも含め検討していきたい。

●デジタルガバメント化やドメイン知識をもつデータ人材育成に加えて世の中のデータの可視化、政府・自治体の取組みに対して機構が助言したり触媒となったりできないか、是非検討していただきたい。

→他の大学との連携も含めて今後検討していきたい。

●データサイエンス人材育成等の体制を強化すべきであるが、予算措置を講じてもらうことはできないのか。

→今後、来年度以降に現在のパイロット事業を拡大して取り組むことができれば、と考えている。

●データサイエンス共同利用基盤施設は先進的な取組みであり、広げてほしい。他にもデータを必要としている研究所は多いため、見える化を進めてきちんと発信してはどうか。

→DS施設は機構内に閉じているわけではないが、「連合体」に結びつけて広くオープンにしていくと門戸は広がると思う。データ取得に関しては、メタデータ化も含めて取り組みたいと考えている。

【報告事項】

(1) 財務状況の解説について

坂口委員より資料7に基づき、令和元年度の機構の財務状況について説明された。

<意見概要>

●研究費が減っているということは、未来のアウトプットが減るということを意味していることが危惧されるが大丈夫か。

→研究者一人一人の基盤的な研究費が減っていることは事実であり、予断を許さない状況ではある。

(2) 「令和元事業年度における剰余金の承認」について

坂口委員より資料8-1、8-2に基づき、目的積立金が承認されたことが報告された。

(3) 令和3年度(2021年度)概算要求状況(コロナ禍を踏まえた取組)及び文部科学省からの概算要求状況の伝達について

坂口委員より資料9-1～9-8に基づき、文部科学省へ提出した要求書について説明された。

(4) 平成31(令和元)事業年度に係る業務の実績及び第3期中期目標期間

(平成28～31(令和元)事業年度)に係る業務の実績に関する評価について

津田委員より資料10-1～10-4に基づき、業務実績及び評価、今後のスケジュール等について報告された。

(5) 令和元年度監事監査報告について

吉武監事より資料11-1、11-2に基づき、昨年度監事からの意見が報告された。

(6) 大学共同利用機関法人における会計監査人の選任について

坂口理事より資料12に基づき、会計監査人としてあずさ監査法人を選任したことが報告された。

【その他】

(次回の経営協議会の日程について)

- ・次回の経営協議会は、2021年1月25日(月)10:00から開催の予定。

以上

《配付資料》

- ・ 令和2年度第1回、第2回議事要旨
- ・ 組織運営規則の一部改正について・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料1-1】
- ・ 新旧対照表（組織運営規則）（案）・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料1-2】
- ・ 就業規則等の一部改正について・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料2-1】
- ・ 新旧対照表（就業規則等）（案）・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料2-2】
- ・ 役員退職手当に関する業績勘案率について・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料3-1】
- ・ 情報・システム研究機構役員退職手当規程・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料3-2】
- ・ 第3期中期目標期間における「施設・環境整備及び教育・研究プロジェクト計画」の見直しについて（案）・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料4-1】
- ・ 情報・システム研究機構施設・環境整備及び教育・研究プロジェクト計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料4-2】
- ・ 令和2年度（2020年度）補正予算編成方針（案）・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料5-1】
- ・ 大学共同利用機関運営費（一般経費）補正予算（案）・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料5-2】
- ・ 令和元年度外部評価の概要について・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料6-1】
- ・ 外部評価委員会による評価報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料6-2】
- ・ 令和元年度外部評価結果に対する取組（案）・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料6-3】
- ・ R1 財務状況解説データ・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料 7】
- ・ 剰余金繰越承認通知書・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料8-1】
- ・ 繰越承認申請書・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料8-2】
- ・ 令和3年度共通政策課題分（コロナ禍を踏まえた取組）・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料9-1】
- ・ 令和3年度概算要求主な事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料9-2】
- ・ 「コロナ禍」「基盤的設備」要求額算定の考え方・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料9-3】
- ・ 令和3年度予算の概算要求の具体的な方針について・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料9-4】
- ・ 概算要求ポンチ絵（関係箇所抜粋）・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料9-5】
- ・ 令和3年度文部科学省概算要求のポイント（科学技術関係）・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料9-6】
- ・ 新時代の学びの基礎となる通信環境整備（SINET関係）・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料9-7】
- ・ 令和3年度国立大学法人等施設整備概算要求事業について・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料9-8】
- ・ 平成31年度及び4年目終了時評価ヒアリングの概要について・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料10-1】
- ・ 平成31年度及び4年目終了時評価ヒアリング資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料10-2】
- ・ 平成31年度及び4年目終了時業務実績報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料10-3】
- ・ 正誤表・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料10-4】
- ・ 令和元年度監査報告について・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料11-1】
- ・ 令和元年度監事監査意見書・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料11-2】
- ・ 大学共同利用機関法人における会計監査人の選任について・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料 12】